

しゃらくかい

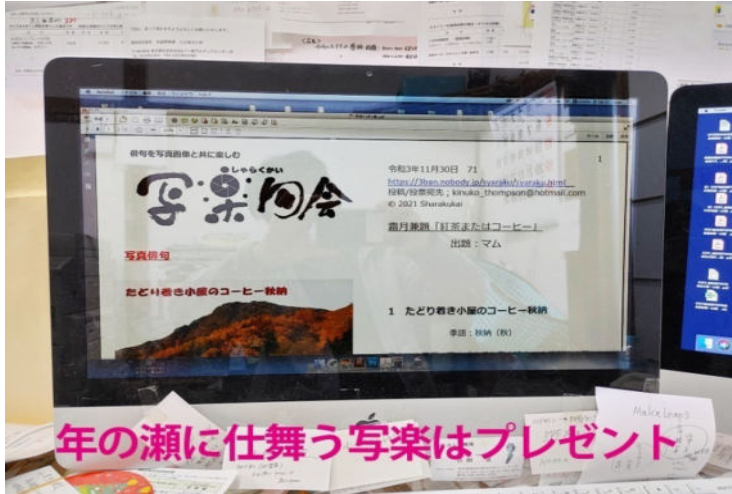
写楽同会

令和3年12月28日 72

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
 投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com
 © 2021 Sharakukai

師走兼題「プレゼント」 出題：陽閑

写真俳句



年の瀬に仕舞う写楽はプレゼント 池福楼

季語：年の瀬（冬）

「写楽」はまさに私の暮らしの句読点。贈り物でした。



歩が進む天のギフトや秋の色 千泉

季語：秋の色（秋）

秋色が大好きです。



敬老日 孫から届くペアグラス 昼寝覚

季語：敬老の日（秋）

喜寿のお祝いに送ってくれました。



街をゆく人の袋に12月 陽閑

季語：十二月（冬）



ぶら下がる裸木山のプレゼント iSAMU

季語：裸木（冬）



木の葉髪妻より帽子贈られて 準坊

季語：木の葉髪（冬）

日に日に髪が少なくなつて来ているのを実感。



天からのおくりもの白
けさの冬

天からのおくりもの白けさの冬 北切雀

季語：今朝の冬（冬）



早起きし吾子の叫びしサンタ来た！ 久芽

季語：サンタクロース（冬）

子供の幼少の頃の思い出です。



寒い夜キラリ輝くプレゼント 梵木

季語：夜寒（秋）

この写真はプレゼントのなる木です／三井不動産。

俳句



撮影：陽閑

プレゼント師走の街に人が混む 梵木

季語：師走（冬）

欲しい物カーネルに乞う聖夜かな 池福楼

季語：聖夜（冬）

チキンを買っていた親子の微笑ましい風景。

この時節歳暮鮭あり幼き日 千泉

季語：歳暮（冬）

子供の頃父のところに毎年鮭が一本届いていたことを思い出して。

品選び考え過ぎやクリスマス 陽閑

季語：クリスマス（冬）

若き友 亡き娘（こ）がサンタかおくり者 マム

季語：サンタクロース（冬）

若い友達を娘が天国からプレゼントしてくれた気がしています。友人だから「者」としました。

冬茜マジックアワーの贈り物 久芽

季語：冬茜（冬）

マジックアワーとは日没前に数十分程体験できる、薄明の時間帯を指す撮影用語。色相がソフトで暖かく、金色に輝いて見える状態です。

例年の暦が届く年の暮 北切雀

季語：年の暮（冬）

はい、類句は山ほどあるのは分かってます。

日溜りに まるまる眠る猫二匹 昼寝覚

無季

寒い日の日溜りは太陽からの贈り物です。

プレゼント隠して帰路の聖夜かな 準坊

季語：聖夜（冬）

にっこり笑顔が見れるかな。

川柳

陽閑 ブースター帰り車が副反応

プレゼント貰うもやるも日本式

準坊 断捨離を初めて三日で物が増え

三日坊主です。

散歩コースコンビニ必須トイレ近し

年を取るとどうにも。

助け舟乗ったり降りたり伸晃さん

100億円 ISSからはしやぎ声

この写真で一句：追加

マム 三回忌亡き娘 (こ) も食すおしながき

写真投稿

iSAMU



枯草



皇帝ダリア



真弓の実

令和3年11月「コーヒーまたは紅茶」（出題：ママ）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：27

一席 宵寒やゴトンと熱き缶珈琲 準坊 (11 票) 季語：宵寒 (秋)



<< 冷えた体に熱き珈琲はホット？しますね。>>

- * 「ゴトン」の字面が本当に揺れているのと、ダジャレコメに笑いました。写真俳句の特性と季語を活かしている。
- * 情景が目浮かびます。
- * 仕事帰りでしょうか、疲れて寒いところへ缶コーヒー、ほっとしますね。
- * 寒さつのる夜に缶コーヒー、手も身体も温まりホットしますよね、まさに身近にある幸せ感じます。
- * ゴトンの音は日本での自販機懐かしい。
- * 缶珈琲の音に目を付けたところが良いですね。
- * 販売機の缶の出る音が人の会話のように暖かさを感じます。「これを飲んで温まってね」と言っているようです。
- * ゴトンという音が聞こえました。文字も工夫されていますね。

佳作 (令和3年11月号掲載順)



たどり着き小屋のコーヒー秋納 iSAMU

季語：秋納 (秋)

<< 日本で2番目の高山「北岳」登山途中の白根御池小屋。>>

- * 上五に登山の苦勞が見えます。見事な紅葉の中のコーヒー、格別な味でしょう。



初霜に通勤電車カフェアロマ 陽閑

季語：初霜 (冬)

<< 駅前の移動カフェの写真です。朝の郊外からロンドンに向かう電車にはコーヒー飲みが多い。>>

- * 可愛い車体と髭男、なんだか素通りできない魅力のある店ですね。
- * 電車の中で僅かにコーヒーの香りを感じるなんて安らぎますね。
- * 写真の何気ない風景がエキゾチックに魅了され心に響きます。朝のコーヒータイム句とともにいい雰囲気ですね。



龍井茶 (ロンジンティ)
美 (は) しくのどやか龍潜む 北切雀

季語：龍淵に潜む (秋)

- * 杭州市特産の緑茶は飲んだことがないので一度是非・・・。



旅の駅缶コーヒー手に冴ゆる夜 池福楼

季語：冴ゆる（冬）

- * なんだか一人旅のような気がしますが。自販機は世界に誇れる日本文化。
- * 身体が冷えていく感じが伝わります。
- * 寒々とした夜の駅、旅愁を掻き立てられますね。



珈琲へ帰り行く朝枯葉道 一枝

季語：枯葉（冬）

- * 静かな秋の散歩道。消失点に漂う珈琲の香。方向を示す助詞「へ」の使い方がさすが。



夏旅の疲れを癒すティーポット 昼寝覚

季語：夏（夏）

<< イタリアの田舎町で立ち寄ったバルで、可愛いティーポットでお茶を出してくれました。>>

- * これはほっこりしますね。



冬めきて紅茶に少しブランデー 久芽

季語：冬めく（冬）

<< 紅茶にブランデーを落とす。温まりますね。>>

- * そうだ、これを忘れてた！
- * おしゃれな冬のティータイム、ちょっと一息に贅沢プラス、芳醇な香りが漂ってきそう。
- * 温まりますよね！義母がこの飲み方が好きでした。
- * 十分大人を愉しんでいますね。



珈琲をこぼして出来る早秋の絵 梵木

季語：早秋（秋）

- * どんな絵ができたのでしょうか？それでちょっと占いができる？



コーヒーの香り高まる秋高し 千泉

季語：秋たかし（秋）

<< 店の外でもコーヒーの香りが上っていくようでした。 >>

- * 香はぽっかり浮かんだ雲に乗っているかのような写真と、気持ちいい句。
- * 秋は珈琲の香が漂ってたら空見上げるのですね！
- * 相当美味しいコーヒーでしょうね。

俳句



「紅茶またはコーヒー」

今月の兼題の看板を掲げた店

北切雀

一席 投票数：25

封を切る珈琲の香や冬の朝 準坊（7票）

季語：冬の朝（冬）

<< 寒い朝に一杯の珈琲は至福の時です。 >>

- * 寒さは香を立たせるような気がします。
- * 冬の朝の珈琲の香いいですね。
- * うーん、わかります、寒い冬の朝は特にこの香りが脳を刺激してくれます。
- * 何回も封切りたいなあ。
- * コーヒー好きの私は、初めて買った銘柄の封を開けるととき特に楽しみです。
- * 本当に至福の香りですよ。緑茶派の私ですがあの香りには鼻がひっぱられます。

佳作（令和3年11月号掲載順）

吾はラテ妻ブラックの秋うらら 池福楼

季語：秋うらら（秋）

- * とても素敵なご夫婦像が目浮かびます。
- * 我が家は二人ともブラック派。
- * 秋の陽を楽しんでいる様子も感じます。
- * コーヒーもお好みで味方それぞれですよ。仲良く楽しめる相手がいてお幸せな日々を大切に！
- * ほのぼの。

あたたかきコーヒー香る夜長かな 千泉

季語：夜長（秋）

<< 夜はコーヒーを飲まない人が多いのですが、時々ほっとできます。 >>

- * 自分も夜は珈琲を避けていますが、寝付けないうまま秋を楽しむ手もありますね。
- * 夜はコーヒーを飲まない様になっていますが、本を読んだり手紙を書いたり。夜長したい時はコーヒーは良いですね。

茶一杯ねばる熟女やみのり秋 陽閑

季語：秋（秋）

- * 過熟女の自分の姿を見るようで笑ってしまった。
- * 居心地がよくて腰を落ち着けちゃつたんでしょうね。

秋気澄む ドリップごとの香りかな 昼寝覚

季語：秋気（秋）

- * 珈琲は味よりなにより香でしょうか。
- * 空高く、空気も澄んでいる、コーヒーの香りも漂ってくる感じかな。
- * 季語のイメージが膨らむように静けさの中に香気が漂う様が浮かんできます。

ジョギングの帰りはコーヒー秋の宵 久芽

季語：秋の宵（秋）

<< 定期的にジョギングをしている息子は帰りはいつもコーヒーを持って帰って来ます。>>

- * さしもの暑さも去り気持ちよく走れる季節。コーヒーが美味しいことでしょう。

珈琲色のコート足早やな女 (ひと) 北切雀

季語：コート（冬）

毎朝のホットコーヒー仏前と マム

季語：ホットコーヒー（冬）

- * 大切な故人が好きだった飲み物でしょうか。辛くもあり、また慰められもする味でしょうか。
- * 亡き人は過去の人ではなく、今ここに存在する。一緒に生きている。

秋深し朝餉のセーロン茶甘し 一枝

季語：秋深し（秋）

- * 上級者の句またがり。甘さが上五「深し」に戻って茶に味わいを重ねる。
- * 朝餉は和食でなくパン食ですね。

目が覚める晩秋の朝珈琲を 梵木

季語：晩秋（秋）

- * 自分も朝イチの飲み物はコーヒーです。

皆さまには2016年から5年の長きに渡り「写楽句会」を支えて頂き誠に有難うございました。新生「写楽句会」も同様に温かいご支援ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願いいいたします。

令和4年1月からの「写楽句会」

令和4年2月発信「写楽句会」の兼題はCKさん出題「雑煮」です。
締め切りは令和4年1月20日です。イメージ写真は発想のタネとしてご利用ください。
なお、「短歌、狂歌、自由俳句、写真投稿、この写真で一句」の掲載はなくなります。



皆さま、ご家族お揃いで良いお年をお迎えください

写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>